

松前町

議会だより

No.112

2022年2月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

12月定例会

祝 令和4年成人式 葵花向日 ~未来を見つめて~
松前町・松前町教育委員会



みんな久しぶり! (令和4年成人式 1月9日)



1年遅れの開催、笑顔で再会! (令和3年成人式 12月26日)

「松前町議会に関するアンケート」にご協力を!(詳しくは6ページに)

アンケートは
こちらから▶



読みやすいレイアウトにしました。ぜひご一読を!

12月定例会に提出された議案は、以下のとおりです。

可決

議案番号	議案内容
54	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を行うための経費が緊急に必要なことから、令和3年度松前町一般会計への補正(7回目)として、8048万2千円の増額を専決処分しました。(承認)
55	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている子育て世帯の支援を行うための経費が緊急に必要なことから、令和3年度松前町一般会計への補正(8回目)として、2億4986万9千円の増額を専決処分しました。(承認)
56	防災会議の委員の資格を見直し、女性委員の登用の幅を広げるため、松前町防災会議条例の一部を改正しました。
57	全世代対応型の社会保障制度に関する法律等の一部改正に伴い、未就学児がある世帯に係る国民健康保険税を減額するため、松前町国民健康保険税条例の一部を改正しました。
58	宅地の造成が優良な宅地の供給に寄与するものであることについての認定の申請に対する審査に係る手数料の額の適正化を図るため、松前町手数料条例の一部を改正しました。
59	家庭的保育事業者等及び特定教育・保育施設が作成、保存、交付等を書面で行うことに代えて、電磁的記録により行うようにするため、関係する条例の一部を改正しました。
60	松前町放課後児童クラブの整備に伴い、その位置を変更し、定員を増員するため、関係する条例の一部を改正しました。
61	産科医療補償制度の掛金額の引下げを踏まえ、出産育児一時金等の支給総額を維持するため、松前町国民健康保険条例の一部を改正しました。
62	愛媛県市町総合事務組合の共同処理する事務のうち、日本国内で交通事故により災害を受けた構成団体の住民又はその遺族の生活の共済に関する事務の構成団体から西予市が令和4年3月31日をもって脱退するための当該組合の規約変更について、地方自治法の規定により議会の議決を求めました。
63	愛媛県市町総合事務組合の共同処理する事務のうち、日本国内で交通事故により災害を受けた構成団体の住民又はその遺族の生活の共済に関する事務の構成団体から西予市が令和4年3月31日をもって脱退することに伴う当該組合の財産処分について、地方自治法の規定により議会の議決を求めました。
64	第5次松前町総合計画に示されたまちづくりの将来像である「生きる喜び あふれる まち まさき」の5つの基本施策を具現化するため、令和3年度松前町一般会計への補正(9回目)として1億1298万7千円が増額されました。
65	主に保険給付費等交付金を償還するため、令和3年度松前町国民健康保険特別会計への補正(4回目)として1336万円が増額されました。
66	主に一般会計へ繰出すため、令和3年度松前町後期高齢者医療特別会計への補正(2回目)として219万6千円が増額されました。
67	主に地域密着型介護サービス給付費が増額したため、令和3年度松前町介護保険特別会計への補正(3回目)として5639万2千円が増額されました。



68

新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯の生活を支援する臨時特別給付金を支給するため、令和3年度松前町一般会計への補正(10回目)として2億4805万9千円が増額されました。

※議案番号64以外は、全員一致で可決

賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議員名 議案番号	西村	渡部	曾我部	影岡	田中	住田	稲田	加藤	藤岡	村井	岡井	伊賀上
64	●	○	●	○	○	●	○	—	○	○	○	●

※議長は採決に加わらない。

松前町
議会中継
[録画]



報告された案件は、以下のとおりです。

報告番号	報告内容
6	松前小学校放課後児童クラブ新築工事について、おしゃれな松前推進事業の一環として金属製網目フェンスからアルミ製木彫フェンスへの変更を行うことで、契約金391万円を増額する必要が生じたため、専決処分しました。

おしゃれな外観になりそうですね。
なお、定員は4月から200人(現在、160人)になります。

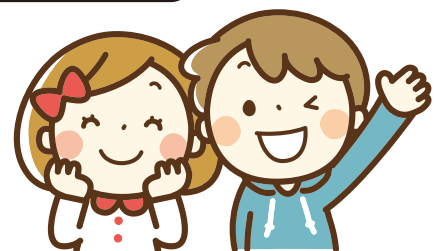


松前小学校放課後児童クラブの外構フェンス

フェンス完成イメージ図



— 部分がフェンスです。



最終日 一般会計補正予算

義農大賞増額分の是非を問う討論

反対



伊賀上

審査委員会で大賞が2件になったということだが、先日の予算決算常任委員会では、総務課長から町長による決定であるとの答弁があった。町長が「大賞は1件で」と言えばよいだけだと考える。

また、能は予算を決定する1年前には、京都の能の先生に制作依頼をしている。これは町長が、自分の趣味である能を事業化するための予算なのか？117万7千円の予算は『いい加減過ぎる私物化予算、悪しき公約』であると考ええる。

賛成



村井

義農大賞表彰式での特別イベントで義農作兵衛のオリジナルの能を八公演する。

能の制作を京都の有名な能楽師にお願いするに至った経緯は「まだ事業実施も予算も決定していない、議会が了承しないと実現しない、それでもいいかという勝手なお願いであった」と町長自身が記者会見で公表しており、やましいことはない。

新作能の上演は誰も思いつかない町長ならではの発想であり、町長以外では成し遂げられない、大きな功績である。

増額分とは

義農大賞審査委員会において大賞受賞者を選考した結果、受賞者が2名となり、映像作品制作費に不足が生じるため、委託料117万7千円を追加するもの。

計画時は受賞者1名で、その映像作品制作費は当初予算で計上されていた。

映像作品制作とは、受賞者の活動の様子等を映像化すること。4月表彰イベントでその映像を公開し、受賞者の活動の様子を紹介する。

反対



曽我部

「義農大賞」事業は、賛否分かれてのスタート。事業に賛成・反対だった方が、この増額分のみに対してどう思うのか。事業の反対より、この増額分に対しては、反対や「そこまでやらなくても」と批判的な声が多いと思われる。そのような中で増額して事業を進めるべきであるだろうか。ここは町民感情を考慮して、予定どおり受賞者1名、当初予算程度で事業を進めるべきではないだろうか。その方が町民のほとんどの方が納得するのではないだろうか。

賛成



田中

2名の義農大賞受賞者は、町とは独立した委託業者が運営する審査委員会で公平公正に決まったものであり、選考結果に行政が介入すれば公平性を欠く。165件という多くの応募の中から、真剣に選考していただいた審査委員の方々にも失礼である。

今回の義農大賞に関する補正予算は、大賞が二つとなったため、大賞受賞者の功績の映像化に、やむなく追加費用が必要となったものであり、他の事業と同様の手続きでならぬ問題ない。



予算決算

一般会計補正予算

◎総務部所管

問 義農大賞が2件となった経緯は。町長は審査にかかわっていたのか。

答 審査員3名が甲乙つけがたいため、2件と決めた。町長は審査にかかわっていない。

問 ふるさと納税寄附の受け入れ件数の多い都道府県は。

答 おおむね全国からいただいている。東京都の80件が一番多い。ほかにも神奈川県、大阪府など都市部の方から多く寄附をいただいている。

問 ふるさと納税ポータルサイトの使用料率は年々上昇しているのか。また、今後もサイトを利用するのか。

答 ポータルサイトは「さとふる」と「ふるさとチョイス」の2社を利用しているが、「ここの数年、使用料率は変わっていない。

当初は使用料が発生しないホームページを利用して募集をしていたが納税の歳入額が少なかった。しかし、サイトを利用することで歳入も増えてきており、当面はこれらのサイトを利用したい。

3回目のコロナワクチン接種に必要な経費及び産後ケアやふるさと納税事業などを可決



問 ポータルサイト使用料の算出根拠は。

答 寄附額に対しての使用料率は「ふるさとチョイス」は5%、「さとふる」は12%である。

問 当初予算と補正予算の寄附額に対するサイト使用料の割合が合致しないが。

答 昨年実績では「さとふる」の利用が多かったため、当初の段階は低めの使用料で予算化していた。しかし、今年度の実績を見ると「さとふる」が多かったため、適正額で計上した。

◎保健福祉部所管

問 ①産後ケア委託料において、当初予算の2倍の補正が計上されているが理由は。

答 ②次年度からの当初事業費は。

答 ①当初55回の利用を想定していたが、直近では119回の利用が見込まれるため追加した。

②初年度の事業のため、利用の審査に曖昧なところがあった。今後は、審査に外部員を入れ、しっかりと審議して、本当に利用が必要な人を見極めるよう努力をしたい。

問 子ども・子育て支援費のシステム改修委託料の補助率は。

答 事業費の3分の2であるが、上限があり81万2千円が限度額となった。

◎教育委員会所管

問 男子ホッケー日本代表チームの強化宿費は、昨年度まではホッケー普及促進事業において県より100万円の補助金が交付されていたが。

答 昨年度までは、東京オリンピックの強化合宿の受け入れとして補助があったもので、今年度から補助はない。



総務産業建設

防災会議、女性委員の登用増へ

問 防災会議はどのような時に開催するのか。

答 防災会議の役割は、防災計画の策定とその変更等であるため、修正する場合に開催している。

問 防災会議委員を17名から18名に増員理由は。

答 外部の意見を重要視するため、内部職員を4名減、外部の女性委員を5名増とした。

問 女性防災士の人数は。

答 松前校区7名、北伊予校区17名、岡田校区24名の合計48名

問 防災・減災対策に女性の視点を取り入れるとは具体的にどういふことか。

答 避難所運営に際し、※災害弱者といわれる方に対する女性の視点が必要である。

男女共同参画の視点からも、平時から役割分担を定め、女性の視点

取り入れた避難所運営の在り方を考えておく必要がある。

※災害弱者とは、地震や洪水などの災害時に、困難を抱え、支援が必要となる方を示す言葉。体力の衰えた高齢者や障がいのある方、妊婦、乳幼児だけでなく、日本語の話せない外国人、旅行者などを含む。



○手助けや配慮が必要であるにもかかわらず、外見からは分かりにくい人が付けるマーク

知っていますか？ヘルプマーク

「松前町議会に関するアンケート」ご協力について

このたび、これまでの議会活動が町民の皆さんの目にどのように映っているのか、また、町民の皆さんがどのように感じているのかをうかがうことにしました。そして、このアンケート結果よりこれからの町議会の在り方を考えるため、アンケートを実施することにいたしました。

本アンケートの趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いいたします。

提出期限 令和4年2月28日(月)

提出先 ①庁舎1階案内所 ②各公民館 ③議員
(①②には回収ボックスを設置しています。)
④右のQRコード(表紙にも)を読み取れば、アンケートを開くことができます。入力後、送信すれば議会事務局に送られます。また、松前町ホームページ⇒松前町議会⇒町議会情報⇒議会からのお知らせにアンケートが掲載されています。



- ・18歳以上であればどの方がご回答いただいてもかまいません。もし、ご家庭で複数の方が回答される場合は、申し訳ありませんが各自でQRコードを読み取り、アンケート用紙に入力してください。または、アンケート用紙をコピーしていただきご回答・ご提出ください。
- ・本アンケートは無記名であり、結果は統計的に処理しますので、個々のご回答やプライバシーにかかわる内容が公表されることは一切ありません。
- ・アンケート結果は、議会だより6月定例会No.114で公表する予定です。



文教厚生

保育事業所の業務負担軽減 保護者の利便性向上を図る

問 電磁化する場合、システムの導入や改修は必要か。

答 システムの改修等が必要であれば保育事業者が行う。

※電磁化により、

- ・書面等の内容を電磁的記録（データ）で作成・保存する。
- ・保護者とのやり取りを電磁的方法（メール）で行う。

ことも可能になる。



一部事務組合議会（決算認定）

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

総額 2億8306万円

●分担金及び負担金 1億3469万円
(内松前町分 6788万円)

●出身地別措置者数(令和3年12月1日現在)
松前町 … 16人 伊予市 … 14人
砥部町 … 3人 組合外 … 9人



伊予消防等事務組合 各消防署及び聖浄苑

総額 16億4060万円

●分担金及び負担金 15億4287万円
(内松前町分 4億2747万円)

●聖浄苑建て替え事業(令和6年度末完成予定)
仮待合所完成



伊予市松前町共立衛生組合 塩美園

総額 1億9307万円

●分担金及び負担金 1億7770万円
(内松前町分 9177万円)



伊予地区ごみ処理施設管理組合 伊予地区清掃センター

総額 7億1506万円

●分担金及び負担金 4億4565万円
(内松前町分 2億191万円)

●バグフィルター交換工事実施



一般質問

6議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

曾我部秀司 議員(9ページ)

◆義農大賞の応募総数及び義農大賞ホームページ等の総閲覧回数は。

◆合併処理浄化槽新築分の補助金廃止は。



村井慶太郎 議員(9ページ)

◆義農大賞への応募数は。

◆今後の義農神社の在り方は。

◆松前保育所跡地の雨水浸水対策貯水槽の計画は。



藤岡 緑 議員(10ページ)

◆要支援高齢者の暮らしを支える方策は。

◆SDGs活動の小中学生教育プロセスへの関連は。

◆3回目ワクチン接種などのコロナ対策は。



稲田 輝宏 議員(10ページ)

◆野良猫対策として、不妊去勢手術費助成金の増額など取組の強化は。

◆水害不安地域対応は。



影岡 俊範 議員(11ページ)

◆自治体が行う奨学金返還支援制度の導入は。

◆農福連携への取組は。



西村 元一 議員(11ページ)

◆職員の懲戒免職処分は。

◆介護保険による住宅改修の松前町特別ルールは。

◆津波火災対策は。



耳より情報

● 毎回、広報読者モニターにお答え頂いています

アンケート内容

- ①興味を持った記事
- ②「議会だより」の印象
- ③「かなり良い」「おおむね良い」点
- ④「あまり良くない」「良くない」点
- ⑤表紙
- ⑥その他



アンケート集計

2020.8月号～2021.11月号

- ①一般質問、予算決算関係、委員会ニュース、義農大賞、町民の声、議会のしくみとながれ
- ②「おおむね良い」という回答多数
- ③・QRコードがあり、すぐ議会中継を見ることができると好評。
 - ・文が端的で読みやすい。
 - ・図や写真が有効的である。
 - ・カラー表示などにより、見やすく分かりやすい。
- ④・文字が多く、読もうと思わない。
- ⑤・子どもたちがおいしそうに食べている笑顔がよい。
 - ・「たより」なので、季節感がある写真がよい。
- ⑥・「広報まさき」はじっくりと読むが、「議会だより」はさらっと読むという人が多い。
 - ・議会そのものに関心がない。

※多くのご意見ありがとうございます。
これらを参考により良き議会広報を目指していきます。





曾我部 秀司 議員

問 義農大賞の最終的な応募総数、県外、県内、町内それぞれの応募数は。
答 県外が117件、県内が44件で合計165件。このうち町内は7件。

問 9月、私の質問に対し「個別に話して広めていく」との答弁があったが、個別に働き掛け応募をお願いしたのか。
答 具体的に総務課で依頼したのは、東京や大阪の県人会を通じてご案内させていただいた。

委託業者は、中四国のNPO団体、内閣府のホームページにあるNPO団体の一覧から抜粋して案内したと聞いている。

問 義農大賞ホームページ等、それぞれの最終的な閲覧回数は。
答 義農大賞ホームページアクセス数が6952件、ツイッター表示回数が



が9630回、ユーチューブ動画再生回数が3万6441回だった。この他、15社のネットニュースでも取り上げられ、全国に報じられた。

問 県外者の閲覧回数は。
答 閲覧回数の県内、県外の区別はできていない。

意見 県外者の閲覧回数は分からない、しかも延べ数であるため、閲覧回数は「松前町の全国的知名度の向上」という目的が達成できたかを説明する根拠となるデータになりえない。その点をしっかりと考えてほしい。



村井 慶太郎 議員

問 今後の義農神社の在り方は。
答 義農神社は神社の形式を取っているため、現状のままでは政教分離の原則により行政が維持管理を行うことができない。現在、筒井地区と玉生神社に義農神社建立前に御霊が祀られていた八幡神社への遷宮について検討いただいている。遷宮後は、今ある建物は単なる建築物になるので、議会にも相談させていただきながら、建物の解体と公園整備について考えている。

問 松前保育所の跡地利用は。
答 激甚化・頻発化する水災害に備え、義農湛水施設の排水能力を補完するため、保育所跡地の地下に雨水貯水槽の整備を計画している。現在、施設の規模と効果を検証するため浸水シミュレーションを行う準備をしているところである。地下式とすることで地上は義農公

園を拡張し、駐車場や広場の整備・公園遊具の増設も行いたい。
 構想段階ではあるが、松前駅前広場の整備や松前駅と義農公園をつなぐ道路の歩道整備による回遊性の向上により、松前駅を中心とした既成市街地における賑わいの創出、安全・安心で歩いて暮らせる魅力あるまちづくりを目指している。



意見 義農大賞という新規事業において、応募・アクセス数とも多くあり、評価している。賞金100万円を大賞に選ばれた2件ともに贈れるよう増額してほしいくらいだ。松前町の偉人義農作兵衛の精神を日本中に広め、町のイメージアップにつなげるとともに、町長がまいた種を、職員が知恵を出し、町民と話し合い、議会は協力を惜しまず、松前町のために素晴らしい花をさかせてもらいたい。





藤岡 緑 議員

問 町内の高齢化率の現状は。

答 町の高齢化率は、31.4%。

独居高齢世帯率は、13.2%で高齢夫婦世帯率15.7%と明らかに5年前と比較しても増加している。

問 特に生活に関する困りごとの中で

通院や買い物、掃除などが挙げられているが、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」を一体的に提供する地域包括ケアシステムは機能しているのか。

答 支援が必要な高齢者を地域で支え合い、助け合える体制を構築するため、平成28年度から校区ごとに協議体を設置し地域情報を共有し「生活支援体制整備事業」に取り組んできた。

この取組により、住民同士の支え合い意識は高まったが、身近な困りごとを解決する体制までには至らなかった。

問 今後の対策としては。

答 この協議体を各大字にも設置し、地域ごとの身近な生活課題を見つけて出しボランティアや社会福祉法人、民間企業など多様な機関と連携し支え合う活動の実現に向け体制づくりを進めていく。

★支援体制が整うまでの間は、現在ボランティアセンターに登録する団体のごみ出しやシルバー人材センターも実施している買い物、掃除等の家事サービスなどをつなぎ、これらを広報紙で広く周知していく。



稲田 輝宏 議員

問 繁殖力の強い野良猫が激増する懸念がある。

野良猫を捕獲して譲渡会を催すボランティア活動に公的な場所を提供するなど後押しをする考えはあるのか。

答 人の集まりやすい公的施設で譲渡会の相談があれば、施設管理者へ手続を取り次ぐなど取組に協力する。なお、県は動物愛護推進計画に基づき譲渡講習会や譲渡会をしている。この取組にも協力していきたい。

問 避妊などの手術には費用がかかる。1回あたり避妊2万1千円・墮胎2万5千円＋処理費用5千円・去勢1万3千円程度で町では犬・猫不妊去勢手術費助成金で2300円×170頭の予算があるがボランティアの自己負担も多い。

これは、飼犬・猫も含んでいる。助成金の増額の取組をする考えは

あるのか。

答 犬・猫の不必要な繁殖や周囲に対する危害・迷惑の防止をはかるため不妊手術などに助成金を設けている。令和2年度は猫145頭・犬25頭、計170頭に対し助成した。

ボランティアで自費により野良猫の不妊去勢手術による繁殖防止活動をしている地域住民から助成金増額の要望があり、協議した結果トラブルの減少・殺処分の減少に一定の成果があると認め、令和4年度から増額し当初予算案に計上の予定だ。

野良猫を増やさないためには不用意に餌をやらない事で今後もチラシ配布など啓発活動の強化や手術の助成を続けていきたい。



地域でゴミ出し支援も



譲渡会の様子





影岡 俊範 議員

問 奨学金返還の支援制度の導入は。

答 奨学金返還支援制度は、地方における生産年齢人口が減少していることへの対策として、地域に定着する人材を確保するよう設けられた制度であり、その必要経費については特別交付税の措置対象とされている。

「町内に一定期間定住すること」などの条件を設定して奨学金返還の支援を行うことで、県外の大学に進学した学生のUターンなど、若年層の地元への移住・定住の促進に一定の成果を上げようとするもの。

住み続けてもらうためには、生活に必要な収入を得られる仕事があることが不可欠である。

今後、地元企業の求人状況を踏まえながら、返還支援を実施している他自治体の実績や効果を検証し、本町での実施の必要性を研究していきたい。

「農」と福祉の連携 Ver.5

福祉分野に農作業を
～支援制度などのご案内～



厚生労働省 農林水産省

農福連携への取組は。

答 農福連携は、農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組である。

農業分野において、障がい者が貴重な働き手となることが期待されるほか、働く場の確保、賃金、体力や社会性の向上、地域との交流の促進等、生活の質の向上が期待される。

県では、認知度の向上を図るため、農業者と障がい者就労施設等を対象に農福連携セミナーの開催、また、ワンストップ相談窓口の設置、マニュアルの作成、農作業体験のマッチングに取り組んでいる。

本町の将来の農業経営の発展及び障がい者の社会参画の実現のために、地域においてその定着を図ることが重要であると認識し、どのような形で町が農福連携に関わるか研究していきたい。

問 なぜ今最高裁判所へ上告中の職員を懲戒免職処分は。

答 起訴された元職員は、裁判で無実を主張し事実関係も争っている。処分は裁判所の判断を踏まえる必要があるため、処分を保留していた。

9月2日に控訴審で控訴棄却の判決が言い渡され、それを契機に処分を行った。上告審は通常は下級審が行った事実認定は変更されないことから、下級審で認定された事実を前提に処分することができると考えた。仮に上告審において無罪になったとしても、地方公務員法違反の事実がかわるものではなく、懲戒処分の効力に影響を与えるものではない。

問 介護保険による住宅改修の場合、6畳の部屋面積からベッド床面積分を除く、5畳分しか給付しないのは松前町の特別ルールか。

答 介護保険による住宅改修は、要介護、要支援認定されている方が、自宅で自立した生活を続けるために必要な「手すりの取付け、段差の解消、滑りの防止床、通路面の材料の変更、引き戸等の取替え、洋式便器等への便器取替え」の6種類である。

お尋ねの住宅改修の事前相談で、ベッド下の床を支給対象外としていた過去の事例を基に説明した。指摘があったことに関して再考し、今年度からベッド下も含めた床全体を支給対象とする見直しを行った。平成28年度以降の住宅改修について調べたところ、ベッド下の床を支給対象外としていた。国の通知に従い適切な給付に心掛けていきたい。



西村 元一 議員



町民の声

はじめての傍聴

北川原 中矢真知子

松前町に生まれ、育ててもらった私ですが、この齢になるまで、役場の5階に「松前町議会議場」があることすら、全く知りませんでした。正確には知ろうとしなかったのです。

今回たまたま、知り合いの議員

さんが質問をされるということで、本会議を傍聴させていただきました。

三万人余りの私たち町民一人ひとりの生活が、こうした議会の中で議論され、決定していくのだと思つと、今まで無関心だった自分が恥ずかしいです。

これからは今まで以上に真剣に「議会だより」を読んでいきたいと思つています。

ありがとうございました。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは2月末です。300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

**【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆Fax 985-4148◆**

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

2月28日(月)～3月16日(水)

一般質問 3月7日(月)

インターネット
配信やっています



成人式は人生一度なので、
実行委員は貴重な経験となった。
久しぶりに会う仲間との絆を実感できた。



延期された成人式を終え、
やっと人生の節目を迎えることができた。
近隣の市町が成人式を中止する中、
開催いただき感謝している。

成人式実行委員の
皆さんから一言

編集後記

議長より広報常任委員の指名を受け、委員長に選出されました。常に弱者へ配慮をするなど公平で、正確なわかりやすい内容に努めます。

みなさんとコロナなどの必要な情報を共有し、一日でも早くより安心な生活ができるよう、手を取り合って頑張りましょう。

(稲田 輝宏)

議会広報常任委員会

委員長 稲田 輝宏
副委員長 曾我部秀司
委員 住田 英次
委員 田中 周作
委員 影岡 俊範
委員 渡部 惠美
委員 西村 元一

